

令和7年度事業報告

自 令和7年4月 1日
至 令和8年3月31日

1 事業概要

令和7年度は、ここ数年の傾向で飼料価格等の生産費の高止まりは継続しているものの、需要者の理解が進み販売価格にも反映されつつあり、生産費が価格に反映される過渡期ともいえる年となりました。

また、高病原性鳥インフルエンザの発生が恒常化し、シーズン中は常に発生に注意を払うべき状況となっています。

このような中、当協会では消費者への理解醸成活動、経営診断に基づく個別支援、法に基づく経営安定対策や生産基盤を強化する経営支援、家畜疾病の発生予防とまん延防止対策などの事業を幅広く実施しました。

加えて、地方競馬全国協会や関連団体が実施する事業に積極的に関わり、財政基盤の強化に努めるほか、畜産関連10団体の事務局として事務を適切に執行しました。

また、柏市で工夫を凝らした養豚経営を営む株式会社惣左衛門^{そうざえもん}が、公益社団法人中央畜産会主催の全国優良畜産経営管理技術発表会で同会長賞を受賞し、明るい話題を提供していただきました。

2 会員及び役職員の構成（令和8年3月31日現在）

（1）会員

区分	計
県域畜産団体	19
市町村	51
自衛防疫組織	47
農協・会社等	26
生産者組合等	10
賛助会員	6
合計	159

（2）役員

（単位：名）

会長	副会長	専務理事	理事	監事	計
1	5	1	9	4	20

（3）職員

（職種別）

（単位：名）

区分	総括畜産 コンサルタント	畜産 コンサルタント	一般職員等	臨時職員	合計
人数	5	3	4	5	17

（所属別）

（単位：名）

区分	職員	嘱託及び 臨時職員	合計
専 務 理 事	1	—	1
総 務 ・ 企 画 部	2	5	7
事 業 部	5	4	9
合計	8	9	17



3 会議の開催

(1) 監事会

期 日	場 所	内 容
令和7年 5月26日	K & T 千葉ビル	令和6年度事業報告並びに貸借対照表、損益計算書及び財産目録について
令和7年 6月 2日	プラザ菜の花	従業員の不正経理に係る損害賠償について
令和7年 9月 5日	K & T 千葉ビル	従業員の不正事案に対しての再発防止策について
令和8年 2月 5日	K & T 千葉ビル	従業員の不正事案に対しての再発防止策について

(2) 理事会

期 日	場 所	内 容
令和7年 6月 2日	プラザ菜の花	1) 令和6年度事業報告並びに貸借対照表、損益計算書及び財産目録について 2) 令和7年度会費の額及び徴収方法について 3) 役員の補欠選任について 4) 育児・介護休業に関する規則の一部改正について 5) 旅費規程の一部改正について 6) 役員の報酬額について 7) 令和7年度定時総会について 報告事項 ア 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況について
令和7年 6月30日	プラザ菜の花	1) 役員の選任について
令和7年11月28日	書面	1) 肉用子牛生産者補給金制度に係る第7業務対象年間終了時における積立金の取扱いについて 2) 肉用子牛生産者補給金制度に係る第8業務対象年間における手数料の徴収及び事務委託契約の締結について

令和8年 3月 2日	プラザ菜の花	1) 令和8年度事業計画及び収支予算について 2) 就業規則の一部改正について 3) 旅費規程の一部改正について 報告事項 ア 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況について イ 千葉県自家検定推進協議会の解散について ウ 職員の懲戒処分について
------------	--------	---

(3) 総 会

期 日	場 所	内 容
令和 7年 6月30日	プラザ菜の花	1 報告事項 1) 令和6年度事業報告について 2) 令和7年度事業計画並びに収支予算について 2 議案 1) 令和6年度貸借対照表、損益計算書及び財産目録について 2) 令和7年度会費の額及び徴収方法について 3) 役員の選任について 4) 役員の報酬額について

(4) 家畜衛生業務評議委員会

期 日	場 所	内 容
令和 7年 7月 4日	リモート	1) 令和6年度家畜衛生業務関係事業の実績について 2) 令和7年度家畜衛生業務関係事業の計画について 3) 家畜衛生業務に係る指定獣医師の諮問について 4) 令和7年度防疫演習の実施計画について
令和 8年 3月 3日	リモート	1) 令和8年度予防接種負担金額の決定について 2) 令和8年度家畜衛生業務関係事業の計画について

(5) 養豚振興委員会

期 日	場 所	内 容
令和 7年 8月 8日	旭市干潟公民館	1) 千葉県肉豚共進会について 2) 種豚改良対策基金及び助成について 3) 系統豚ボウソウル 4 について 4) 補助事業について

(6) 定例会議

原則として、毎月末に常勤役職員による定例会議を開催し、翌月以降の事業の計画的な推進と進捗状況の確認及び業務の円滑化・効率化に努めた。

I 畜産経営を支援する事業

畜産経営を支援するために支援体制を構築し、経営支援・指導に加え、スマート機械や種豚導入等の支援、和牛増頭への奨励金交付や肉用牛ヘルパー組織への支援を実施

指導・支援については個別経営に対し延べ94件及び組織団体に対し6件、その他支援については機械導入で57件、種豚導入補助で202頭分、奨励金交付で6戸実施

1 地域畜産支援指導等体制強化事業（地方競馬全国協会）公益

地方競馬全国協会からの支援により実施する以下の取組

- (1) 畜産経営の支援体制の強化
- (2) 地域畜産の活性化、安全かつ安定的な食の提供
- (3) 馬事普及啓発（JBC畜産フェアの開催 令和7年11月3日）

2 畜産コンサルタント等設置事業（県）公益

畜産経営の経営改善を図るため、県や関連団体とともに構成する畜産コンサルタント団を設置し経営改善指導を実施

区 分	総括畜産 コンサルタント	畜産 コンサルタント	非常勤畜産 コンサルタント
人数（名）	5	4	31

3 会報誌編集発行事業（協会単独）その他

本会情報誌「畜産ネットワークちば」を3回、会員及び関係団体等に配布し、協会及び業界の最新情報を提供

4 地域畜産総合支援体制整備事業（県）公益

- (1) 総合委員会（令和7年7月15日）

畜産経営技術等の支援指導・畜産経営状況調査を効果的に行うための具体的な指導内容・手法等を検討

- (2) 専門委員会（令和7年7月15日、令和8年3月4日）

コンサルタント団のスキルアップ

- (3) 畜産経営体の支援指導を効果的かつ効率的に行うための環境整備

- (4) 地域計画に基づき個別支援指導（酪農経営）

項 目	経営診断 改善指導	経営管理 技術指導	生産技術 指 導	フォローアップ 指 導	計
戸数（戸）	11			10	21
件数（件）	0	1	10	30	41

- (5) 畜産関係情報のホームページによる提供

5 貸付事業指導等事業（（公財）畜産近代化リース協会）**その他**

（公財）畜産近代化リース協会から経営の体質強化を目的に導入した機械や施設等の効果的な利用を図るため16基について確認調査及び指導を実施

（1）再貸付団体

4団体 20生産者

（2）貸付施設等

No.	貸付施設区分	調査指導数
1	自給飼料生産利用機械施設	11
2	生乳生産合理化施設	7
3	畜舎環境改善機械施設	7
計		25

6 畜産特別資金等推進指導事業（（公社）中央畜産会）**公益**

大家畜改善緊急支援資金、大家畜経営維持緊急支援資金、大家畜特別支援資金養豚改善緊急支援資金及び養豚経営維持緊急支援資金借入者の経営改善に資するため、県支援協議会（本協会事務局）を開催するとともに現地調査等を実施し、経営改善方策等について検討の上、借入者に対する助言指導を実施

改善緊急支援 2経営（肉用牛1、養豚1）

7 肉用牛経営安定対策補完事業（（独）農畜産業振興機構）**公益**

肉用牛繁殖基盤の強化を目的に肉用牛ヘルパー活動を支援

2カ所（安房、香取）

8 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業に係る事業推進業務 **公益**

畜産クラスター協議会に参画する中心的経営体が行う畜産クラスター計画実現のための収益力強化等の取組みについて、本県の窓口として業務を行った。

（1）機械導入事業（（公社）中央畜産会）

本事業の千葉県の窓口として、令和7年度事業要望27件及び参加申請28件、令和8年度分事業要望1件の取りまとめ等を実施

また、機械導入状況調査に係る3件の現地調査を実施

（2）優良繁殖牛更新加速化事業（（一社）全国肉用牛振興基金協会）

肉用牛の生産基盤強化のため、繋養している繁殖雌牛を優良な若い繁殖雌牛に更新する取組みに奨励金を交付する事業の推進事務を実施

参加戸数：6戸、交付対象牛：19頭

9 酪農経営体生産性向上対策事業(畜産ICT事業)及び酪農緊急パワーアップ事業(楽酪GO事業)に係る推進事務((公社)中央畜産会) 公益

酪農家における労働負担軽減・省力化等の取組みに必要な機械装置の導入(畜産ICT事業)及び導入と一体的な施設の整備(楽酪GO事業)を支援する本事業の本県窓口として、事業の普及、事業推進指導業務を実施

10 養豚経営安定対策補完事業((独)農畜産業振興機構) 公益

養豚経営の安定化を図るため、更なる経営コスト削減及び生産性や能力評価に必要な一代雑種雌豚を導入

(団体養豚生産者9名、一代雑種雌豚 202頭導入)

11 生産技術情報提供事業((公社)中央畜産会) その他

家畜の生産技術指導に資する情報を整備するため、家畜の生産・出荷実績等のデータの収集及び収集したデータの分析結果に基づく助言指導を実施(酪農7戸)

12 スマート畜産推進事業(県及び協会単独) 公益

畜産経営における生産性の向上と省力化を図るためにスマート技術の導入を支援(1名4台)

13 自給飼料増産緊急対策事業(協会単独) 公益

畜産経営の安定に資する飼料作物の増産を図るため、奨励品種の普及や二毛作など単位面積当たり収量の向上を目的とした取組を推進

(1) 栽培実証 2草種2品種 計120a

(2) 飼料増産パンフレット作成・配布

14 畜産経営高度化指導推進事業((公社)中央畜産会) その他

(1) 経営調査・指導データを集積・分析

(4戸うち酪農3戸、養豚1戸)

(2) 全国優良畜産経営管理技術発表会に参加(養豚1事例)

II 畜産経営を守る事業

家畜防疫対策として、牛、馬及び豚の抗体検査、遺伝子検査及びワクチン接種、会議、セミナー及び防疫演習の開催、農場HACCP指導を実施

各種検査は12,494件、ワクチン接種は13,537頭、評議委員会等の会合は13回、セミナー等は9回、防疫演習は3回、農場HACCP指導は67農場に実施

1 家畜生産農場衛生対策事業（国庫）**公益**

自主的な家畜防疫意識の向上と家畜の損耗防止を図るため、牛ヨーネ病、E B L、B V D対策及び予防接種によるアカバネ病等の発生・流行防止対策を推進

（1）ヨーネ病対策

ヨーネ病発生農場の清浄化を図るための検査及び自主とう汰に対し助成
（検査 74頭 1農場、とう汰推進 5頭 1農場）

（2）E B L感染拡大防止対策

E B Lの感染拡大防止を推進するため検査及び予防対策に助成
（抗体検査等 105頭 2農場）

（3）B V D対策

B V D病の清浄化を推進するため重点的な検査及び持続感染牛のとう汰等に助成

（検査 8, 459頭 16農場、P I牛のとう汰推進20頭 10農場）

（4）疾病流行防止支援対策事業

牛の異常産の発生・流行を防止するためのワクチン接種に助成

アカバネ病（単味）	異常産（3種混合）	異常産（4種混合）
2, 278頭	3, 756頭	2, 573頭

2 家畜防疫互助基金支援事業に係る推進事務（（公社）中央畜産会）**公益**

畜産経営に甚大な影響を及ぼす海外悪性伝染病（口蹄疫、牛肺疫、牛疫、豚熱、アフリカ豚熱の5疾病）発生時の損害補償及び経営再建に備え、牛及び豚飼養者による互助基金の造成を支援するための窓口としての事務執行

（1）業務対象年間 令和6年度から8年度

（2）事業参加 牛：350戸、豚：127戸

3 牛疾病検査円滑化推進対策事業（国庫）**公益**

B S E検査に必要な情報提供及び死亡牛の適正な管理・輸送を支援

4 馬飼養衛生管理特別対策事業（（公社）中央畜産会）**その他**

馬の生産、流通の国際化等に伴い馬インフルエンザ等の侵入や流行の危険性が高いことから、競走馬以外の馬の獣医療実態調査、飼養衛生管理技術講習会等を開催

（1）馬飼養衛生管理体制整備委員会（7月・書面開催・10団体）

（2）地域馬獣医療技術基礎調査（10月～11月）

（3）飼養衛生管理技術講習会（令和8年1月21日・千葉市・26名）

（4）馬飼養衛生普及検討会（令和7年10月20日・千葉市・4名）

5 馬伝染性疾病防疫推進対策事業（（公社）中央畜産会）その他

地域における自主防疫活動の強化を図るため検討会を開催し、競走馬以外の乗用馬等を対象とした馬インフルエンザワクチン接種の推進、軽種馬の育成馬、繁殖牝馬を対象とした重要疾病ワクチン接種を支援

（１）検討会（７月・書面開催・１０団体）

（２）ワクチン接種への支援

ワクチン種別	馬インフルエンザ			３種混又は２種混
対象馬	乗用馬	小格馬	軽種馬（育成馬・繁殖牝馬）	
頭数（頭）	４４９	４４	０	３２

6 家畜防疫・衛生指導対策事業（（公社）中央畜産会）公益

（１）地域自衛防疫推進

千葉県における自衛防疫を強化・促進するための会議の開催、悪性伝染病発生時の防疫演習の実施

ア 地域自衛防疫取組促進

ア) 家畜衛生業務評議委員会議の開催

令和７年７月 ４日 リモート １１名

令和８年１月３１日 リモート １１名

イ) 防疫演習

a 急性悪性家畜伝染病発生時防疫活動に係るサブリーダー演習

令和 ７年 ９月 ３日 匝瑳市 ４２名

１０月２３日 匝瑳市 ４４名

b 急性悪性家畜伝染病発生時防疫活動に係る防疫演習

令和 ７年１０月１６日 千葉市 １１５名

（２）地域疾病対策

船橋競馬場競走馬防疫会による馬伝染性貧血に係る競争用馬の抽出サーベランス検査を実施 ６０頭

（３）地域農場HACCP認証支援

農場HACCPの普及促進を図るため、農場HACCP推進農場の実態を調査するとともに、認証に向けて取組む農場に対して技術指導者を派遣し、効果的な指導・支援を行い、認証普及を図った。

ア 普及推進協議会等会議の開催

ア) 普及推進協議会 令和７年７月３１日、令和８年 ３月１７日

イ) 地域取組促進活動 令和７年８月２０日、９月１９日

令和８年１月２１日

イ 地域農場HACCP認証構築指導

ア) 意見交換会 令和７年７月３１日、令和８年３月１７日

イ) 維持構築指導

・対象農場：酪農１０、肉牛２８、豚２１、採卵鶏６、肉用鶏２

計 67農場
・農場HACCP指導員：23名

7 地域養豚生産衛生向上対策支援事業（（公社）中央畜産会）**公益**

養豚経営において生産性を著しく阻害する慢性疾病の発生の低減とまん延防止を図るため、農場管理対策の検討、モニタリング検査により清浄化農場の維持拡大を推進（参加農家 42戸 57農場）

（1）推進会議（全て旭市で開催）

令和7年5月 14日（28名）、12月26日（26名）

令和8年3月 11日（48名） 延べ 102名

（2）セミナー（全て旭市で開催）

令和7年6月 24日（56名）、9月 3日（39名）

令和8年1月 28日（31名）、3月11日（48名）延べ 174名

（3）検査

抗体検査 2, 275頭、遺伝子検査 1, 399頭

塩基配列特定 122頭

8 市町村等自衛防疫活動支援事業（協会単独）**公益**

当協会で実施する家畜衛生業務の円滑かつ的確な推進を図るため、市町村家畜防疫会等の行う自衛防疫活動に対して支援・指導を実施

・活動支援助成金交付先 市町村家畜防疫会 47団体

9 特定疾病損耗防止事業（協会単独）**公益**

疾病に対して予防接種を推進

牛伝染性鼻気管炎ワクチン	1, 394頭
豚丹毒生ワクチン	2, 700頭
日本脳炎・パルボワクチン	201頭
異常産ワクチン（3種混合、4種混合）※	110頭

※ 県立農業高校

10 家畜伝染性疾病防疫活動円滑化推進事業（協会単独）**その他**

（1）悪性家畜伝染病の発生時に対応するための車両の貸与

2台（軽トラック及びフォークリフト）貸与先：千葉県

（2）高病原性鳥インフルエンザ発生時の防疫作業従事者の派遣

1名（発生地：県北東部）

1 1 生産農場衛生対策緊急強化事業（協会単独）**公益**

外国人研修生等を対象とした出前講座の実施

令和7年 5月19日（船橋市・タイ語）

7月 4日（香取市・タイ語）

10月16日（旭市・ベトナム語、インドネシア語、タガログ語）

令和8年 1月29日（千葉市・インドネシア語、タガログ語）

1 2 畜産農場生産工程管理等高度化促進事業（（公社）中央畜産会）**その他**

国際園芸博覧会の食材調達コードを満たす認証取得支援を実施することにより生産工程管理の高度化を図る。

現地指導 15件、その他指導 5件 計20件

Ⅲ 地域の畜産を活性化する事業

畜産及び畜産物の理解醸成のため、船橋競馬場で畜産フェアを2回開催したほか各種イベントの共催及び畜産経営及び輸出対応の相談窓口を設置

1 地域畜産支援指導等体制強化事業（（公社）中央畜産会）**その他** （畜産関係団体調整機能強化事業）

- （1）機能強化等 中央打合せ会2回、ブロック会議2回、他県調査1県
全国優良畜産経営管理技術発表会 1事例
- （2）畜産経営相談窓口の設置 通年
- （3）地方競馬開催支援 畜産フェア等各種イベントでのPR

2 畜産フードチェーン連携推進事業（協会単独）**公益**

千葉県産畜産物のPRイベントの共催

3 畜産フェア（協会単独）**公益**

千葉県畜産のPR、県産畜産物の消費拡大及び馬事畜産振興を目的に船橋競馬場で畜産フェアを開催

令和7年10月12日 船橋競馬場ふれあい広場畜産フェア

11月 3日 JBC畜産フェア

4 畜産物輸出対応生産円滑化緊急対策事業に係る推進事務（（一社）日本畜産物輸出促進協会）**公益**

一般社団法人日本畜産物輸出促進協会が実施する輸出に対する生産者の理解醸成（パンフレット配布・アンケート調査）及び輸出相談窓口の設置

Ⅳ 畜産物の品質向上を図る事業

牛肉及び豚肉の品質向上のための共進会、血統登録及び肉質調査を実施

10月に千葉県肉豚共進会を開催したほか、豚の各種登録登記証明を延

べ3, 501頭、肉質分析を和牛肉826頭について実施

1 養豚改良対策事業 **その他**

本県の豚の改良推進と生産技術向上を図るための支援

(1) 登録事業（協会単独）

種豚登録 77頭、子豚登記 164頭、肉豚証明 1, 579頭

(2) 肉豚共進会事業（協会単独）

品質の高い豚肉生産技術の向上を図るため関係機関の協力を得て開催

令和7年9月30日～10月2日 出品頭数136頭68組 旭市

(3) 優良種豚場認定事業（（一社）日本養豚協会）

純粋種豚の生産基盤の強化と登録事業の推進を図るため（一社）日本養豚協会認定規定に基づく認定農場を支援（遺伝資源保存指定種豚場 3場）

(4) 原種豚認定事業（協会単独）

純粋種豚の改良を担う農場の認定と認定農場を対象とした種豚の認定、能力系統への証明等に対する助成

（種豚登録 39頭・子豚登記 63頭・肉豚証明 1, 579頭）

2 千葉県産オリジナル豚肉生産体制評価事業（県） **その他**

県系統豚ボウソウル4導入農場における飼養管理の向上を図るため、ボウソウル4由来の一代雑種及び肉豚の産肉成績及びそれらを導入している農場の経営成績についてデータを収集し検討

調査農場 5カ所、ボウソウル4由来の一代雑種・10腹

3 肉用牛ブランド力向上対策事業（県） **その他**

高品質な和牛肉を生産する肥育技術の確立を図るため、生産された牛肉脂肪酸組成を分析する費用の一部を補助

分析頭数 826頭（12戸）

V 畜産経営の安定化を図る事業

法令に基づく肉用牛生産に係る肉用子牛生産者補給金制度及び肉用牛肥育経営安定交付金制度の適切な運営並びに肉豚経営安定交付金制度への支援及び飼料高騰に係る交付金を交付

肉用子牛生産者補給金制度で1頭及び肉用牛肥育経営安定交付金制度で5, 799頭に対し交付金を交付、肉豚経営安定交付金制度で135戸に積立金への助成及び飼料高騰対策で154戸に交付金を交付

1 肉用子牛生産者補給金制度（（独）農畜産業振興機構） **公益**

肉用子牛生産安定等特別措置法に基づき、肉用子牛の販売価格が下落した場合に生産者補給金を交付

(1) 交付契約締結者 96人

(2) 事務委託先契約締結数 9 件

1) 契約肉用子牛の個体登録頭数 (単位: 頭)

区分 品種	第 1 四半期	第 2 四半期	第 3 四半期	第 4 四半期	計
黒毛和種	256	300	253	194	1,003
その他肉専用種	0	0	1	4	5
乳用種	349	387	276	186	1,198
交雑種	2,445	2,385	2,130	1,427	8,387
計	3,050	3,072	2,660	1,811	10,593

2) 生産者積立金の積立額 (単位: 円)

区分 品種	契約 頭数	積立 単価	積立額	負 担 区 分		
				農畜産業 振興機構	千葉県	生産者
黒毛和種	1,003	1,600	1,604,800	802,400	401,200	401,200
その他肉専用種	0	18,800	100,000	50,000	25,000	25,000
	5	20,000				
乳用種	349	6,800	6,618,200	3,309,100	1,654,550	1,654,550
	849	5,000				
交雑種	2,445	3,200	22,084,800	11,042,400	5,521,200	5,521,200
	5,942	2,400				
計	10,593	—	30,407,800	15,203,900	7,601,950	7,601,950

3) 生産者補給金交付状況

区分 品種	交付対象		補給金 (円)		交付対象 時期
	人数 (人)	頭数 (頭)	1 頭当 たり単価	交付額計	
その他肉専用種	1	1	49,900	49,900	第 1～第 4 四半期
合計	1	1	—	49,900	—

2 肉用子牛生産者補給金制度運営体制整備強化事業 ((独) 農畜産業振興機構) **公益**

(1) 肉用子牛生産者補給金制度運営適正化推進事業

肉用子牛生産者補給金制度にかかる業務を適正に実施するため、全国統一電算処理システムによる処理の推進、事務委託先及び生産者への指導、肉用子牛取引情報の収集分析

(2) 指定協会運営体制支援事業

肉用子牛生産者補給金制度事務の円滑な推進

3 優良和子牛生産推進緊急支援事業（（独）農畜産業振興機構）**公益**

和子牛価格が堅調に推移するまでの間、和子牛価格の下落時に飼養管理技術の向上に取り組む和牛繁殖経営に対し奨励金を交付

4 肉用牛緊急特別対策事業（（独）農畜産業振興機構）**公益**

和子牛価格の下落時に、和子牛の産地基盤強化に資する取組を実施する和牛繁殖経営に対し、奨励金を交付

5 肉用牛肥育経営安定交付金制度（（独）農畜産業振興機構）**公益**

畜産経営の安定に関する法律に基づき、標準的販売価格が標準的生産費を下回った場合に肉用牛の生産者に対し、その差額の9割を交付金として交付

[交付金交付状況]（令和7年1月期～12月期）

品種区分	交付対象		交付金額計（円）
	延べ人数（人）	頭数（頭）	
肉専用種	289	1,729	19,720,162
交雑種	128	2,469	20,152,158
乳用種	74	1,601	52,311,207
合 計	491	5,799	92,183,527

6 千葉県肉豚経営安定対策事業（県）**公益**

（独）農畜産業振興機構が実施する肉豚経営安定交付金制度の負担金の一部を助成し、養豚経営の安定と肉豚の安定的な生産確保に努めた。

養豚事業者数 135名 補助単価1頭当たり 40円

7 畜産飼料価格高騰緊急対策事業（県）**公益**

輸入原材料価格高騰により、経営に著しい影響を受けている畜産農家等に対し、配合飼料及び粗飼料の購入に要した経費にかかる臨時的な支援金を給付

経営種別	戸数	算定根拠及び単価	頭数・数量	支援金（円）
肉用牛	147	乳用種 5,000円/頭	451頭	2,255,000
		肉専用種及び交雑種 1,000円/頭	35,002頭	35,002,000
養豚	7	配合飼料価格安定制度 契約数量 400円/t	19,550t	7,820,000
計	154	—	—	45,077,000

VI 特別事業

1 種豚改良対策基金（協会単独）**その他**

養豚改良対策事業における登記、登録及び肉豚共進会への支援に活用

VII その他

1 千葉県畜産物消費拡大推進協議会関連事業

畜産フェアの開催

期日：令和7年10月12日（日）

場所：船橋競馬場

内容：県産畜産物及び加工品の直売、畜産に係る展示・体験

2 千葉県養蜂協会関連事業

（1）養蜂振興推進事業（県委託事業）

- ・ 県外からの転飼者の調整、蜜源植生、花粉交配実態、蜂蜜等生産量及び寄生虫の発生状況調査

（2）その他事業

- ・ 県果樹連と連携したポリネーション用蜜蜂の貸し出し
- ・ 県産蜂蜜のPR
- ・ 蜜源植物の苗木、ダニ駆除薬及び輸入免税砂糖等の共同購入

3 千葉県馬事畜産振興協議会関連事業

（1）冠レース「ハートビートカップ」

令和7年12月9日 船橋競馬場

優勝馬関係者に対して賞状及び副賞（県産畜産物）を授与

（2）地方競馬ミルクウィーク

令和8年3月13日 船橋競馬場にて牛乳・乳製品の消費拡大をPR

（3）家畜が関わる伝統行事への支援

3行事（鴨川市、君津市、富津市）

（4）地域畜産フェア

令和8年2月14日 富里市観光交流拠点施設末廣農場にて県産畜産物の販売・PRを実施

4 ナイスポークチバ推進協議会関連事業

- （1）NPC通信の発行とポスター作成配布
- （2）経営安定と生産性向上のための関連行事への協賛
- （3）サポーター会員制度による消費者交流
- （4）イベントに参加し県産豚肉及び養豚産業情報をPR
- （5）県及び自民党県議会議員会畜産振興議員連盟に対し意見交換及び

支援要請

- (6) 国担当部局との豚熱及び疾病対策に関する意見交換
- (7) 成田国際空港での防疫キャンペーンに参加
- (8) 養豚経営安定対策事業（全国肉豚）の業務委託に伴う農家指導
- (9) 登録事業委託団体として豚の改良推進

5 千葉県自家検定推進協議会関連事業

原種豚の確保と能力の高い種豚の改良を担う生産者に対し、協会の執行事業関連事務を取り扱った。

本団体は、令和7年12月19日をもって解散

6 ちば畜産レディースネットワーク関連事業

畜種を越えた畜産に携わる女性のネットワークとして、会員相互の情報交換・研修・消費者交流等の活動の実施

7 NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター関連事業

(1) 畜産経営支援事業

ア 畜産情報収集・提供事業

イ 地域農場HACCP認証支援事業及びJGAP支援

ウ 馬事畜産振興推進事業

(2) 人材情報システム運営及び団体事務受託

県立農業大学校畜産関係非常勤講師を派遣

(3) 消費者交流・動物情操教育事業

畜産フェアに参加し、消費者に対する農場 HACCP 啓発や畜産なんでも相談コーナーを設置

8 チバザビーフ協議会関連事業

肥育技術の向上に資する血液検査分析 140頭

9 チバザポーク販売推進協議会関連事業

千葉県の銘柄豚肉出荷団体が連携しチバザポークの知名度向上と販売促進を図るため各種イベントを通じてPR

10 千葉県CSF感染拡大防止対策協議会関連事業

野生猪での感染拡大防止を図り養豚場へのウイルス侵入を防ぐため、県と連携して野生猪への経口ワクチン散布を実施

(5か所×4回(7月・8月・11月・12月))